



学校便り

だしる
自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和6年5月30日発行

合い言葉 **やればできる**

田代っ子の活躍に感動

校長 土岐 邦寿

5月になり、爽やかな季節が到来かと思いきや、寒暖の差が激しく暑い日が続いた。思った次の日は朝冷え込んだりと体調管理に厳しい季節となってしまいました。

生徒の活動も活発となってきました。地区陸上記録大会に向けて、練習が激しくなっていく中、生徒会のメンバーは生徒総会の準備、1年生は宿泊学習、2年生は修学旅行、3年生は職場体験学習を計画的に進めていく必要があります。それと並行してTJKの個人テーマを設定し、企画していきます。人数が少ない分、一人一人がこなさなければならない量がとても多くなる状態です。手抜きしてしまいそうですが、田代の子どもたちは妥協なしです。今回、私が驚いたことを紹介します。

生徒総会では、タブレット端末を活用してペーパーレス化を実現しました。資料を各個人の端末に転送し、本部役員はプロジェクターでプレゼンしながら進めていきます。都会の一企業にいるのではないかと錯覚するようなスピーディーさです。昔は総会の後、置き去りにされたくちゃくちゃの資料をむなしく掃除している光景を見るものでした。今回ペーパーレス化によりそのようなことは一切なし。資源保護に貢献しました。生徒会のメンバーはデータ化するのは大変だったと思います。この頑張りにより心から拍手を送りたいと思います。



修学旅行でもタブレットは大活躍です。長崎では平和学習を中心に歴史も勉強してきました。あらかじめ調べてきたことと比べながら、新しい情報をどんどん取り入れ、書き込んでいく姿を見ることができました。また、今回鹿児島県初の取組として、平和を考えるワークショップに挑戦しました。これは、長崎さるくガイドの方々と平和記念公園、原爆落下地点、原爆資料館等を回った後、出島交流館に移動して、長崎国際観光コンベンション協会の方々と一緒に平和について考えるというイベントです。お題は「2030年世界が平和になるため、どのようなことをしていけばよいか。」です。生徒一人一人が付箋紙に考えを書き込み、模造紙に貼り付けていきます。その後、話し合い活動を行いました。原爆資料館を見た直後ということもあり、活発な意見が飛び交いました。終盤で、グループごとに発表してもらいました。その中で感動したのは、原爆や戦争の恐ろしさがわかってないから、無くなりたいのだ。VRなど使って原爆の恐ろしさを世界中の人々に疑似体験してもらえば、わかってもらえるのではないかという発表でした。現代っ子らしいアイデアですが、これは効果のある素晴らしい取組になるのではないかと感じました。長崎新聞が取材に来ていましたがすごく感動されていました。6月中旬に特集で紹介されるとのことでした。

田代っ子の活躍に私自身、わくわく、ドキドキが止まりません。地域の方々もぜひ田代中の子どもたちに注目していただき、激励と称賛をお願いしたいと思います。

